



肝炎について

人一倍働き者で我慢強い肝臓は、少しくらいダメージを受けても黙って働き続けてしまうので、病気になっていることに気づきにくくなります。

肝炎になると、肝臓に炎症が起こり、赤く腫れて熱を持ち、痛みを感じます。原因には、ウィルス、アルコール、自己免疫がありますが、日本人の肝炎の約8割がウィルス感染によるものです。

慢性肝炎ウィルス感染者は日本で300～370万人で、9割が40歳以上です。肝炎ウィルスに感染しても検査を受け、早期に治療することで肝硬変、肝がんなどの深刻な症状に進行することを防ぐことができます。

B型肝炎

血液・体液を介して感染しておこるもので、経口感染や空気感染はしません。主な感染経路は、出産時の母子感染と医療従事者の針事故などによる感染、性交渉による感染などです。

・B型肝炎の治療…

① インターフェロンまたはペグインターフェロン単剤

・インターフェロン

・ペグインターフェロン

② 核酸アナログ製剤



C型肝炎

感染している人の血液、体液を介して感染。C型肝炎ウィルスは感染力が弱いので血液に触れたぐらいでは感染しません。輸血による感染が大部分を占めます。自覚症状がないことが多く、感染すると約70%の人が慢性肝炎を発症します。年率7%の方が肝癌へと進行します。

・C型肝炎の治療…

① インターフェロン (α 、 β) またはペグインターフェロン単剤

② インターフェロンまたは

ペグインターフェロン+リバビリンの併用

③ ペグインターフェロン+リバビリン+プロテアーゼ阻害剤

(テラプレビル/シメプレビル) の3剤併用

④ インターフェロンフリー治療

(ダクラタスビル+アスナプレビル) の2剤併用



インターフェロン治療とは？

インターフェロンとは、ウィルスの増殖を抑えるタンパク質のことです。免疫系や炎症の調節をすることで、ウィルスや細胞の増殖を抑制することができます。

インターフェロンには、 α ・ β ・ γ の3種類があり、肝炎に使用されるのは α と β です。 α は筋肉内注射、 β は静脈注射や点滴静注で投与されます。また、これらインターフェロンを利用してつくられた薬に「ペグインターフェロン α -2b」があります。これは、インターフェロンに高分子化合物を結合させ、インターフェロンの分解を抑えるようにつくられたものです。インターフェロンは、そのまま注射で体内に投与してもタンパク質が壊されてしまい効果が持続しませんが、「ペグインターフェロン α -2b」なら、薬の投与のインターバルを長くし、投与回数を減らすことができます。

インターフェロン治療では、肝炎の種類に応じて、ほかの治療法の薬を組み合わせながら治療が進められていきます。

医療費助成について

専門医療機関でB型・C型肝炎と診断され、必要書類を保健所に提出し、各都道府県が設置する審査会で審査し、認められた場合に補助の対象となります。

- ・自己負担限度額…原則1万円（上位所得世帯2万円）を超える医療費に対して助成が受けられます

※助成期間…受給者証交付申請書を提出した月の初日から1年以内（インターフェロン療法では、B型は2か月、C型は2か月または6か月の期間延長があります）

感染拡大と予防のために

<日常生活で注意すること>

- ・ 歯ブラシ、かみそり、ピアス等、血液のつく可能性のあるものを他人と共用しない
- ・ 血液、分泌物のついたものはしっかり包んで捨てるか、流水で洗い流す
- ・ 外傷、皮膚炎、鼻血などの手当ではできるだけ自分で行い、必要があれば医療機関を受診する
- ・ 出産の際には適切な母子感染予防措置をうける。

B型肝炎にはワクチン接種で感染予防が可能です

肝炎についてわからないことや気になることがあるときには、医師や薬剤師に相談しましょう。

(公益財団法人ウィルス肝炎研究財団 / わかりやすいC型肝炎の治療
なび / 厚労省健康局疾病対策課 肝炎対策推進室 参照)



オーロラ薬局

TEL 019-635-1233

FAX 019-635-4555

オーロラ薬局 沼宮内店

TEL 0195-61-3883

FAX 0195-62-6868

オーロラ通信はバックナンバーを含めホームページでもご覧になれます。

<http://www.iwate-aurora.com/>